



社会福祉法人

# 群馬いのちの電話だより

相談電話 027-221-0783

2020.6 Vol.66

編集/社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会 住所/〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号 電話/事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

## ピンチをチャンスに代えて

### ～コロナ騒ぎの中でのひとりごと～

群馬県精神障害者家族会連合会

会長 吉邑 玲子

今までの人類の歴史を辿ると、周期的に人類が危機に見舞われています。人類のおごりのつけがきたのでしょうか。96歳になる母がつぶやいています。

始めはどうにかなると思っていたウイルスの蔓延騒ぎです。どんどん現実の世界とは思えない、小説か映画の世界のような様相を呈しています。

私の人生を考えると、何もよく分からぬままピンチをチャンスに代える術が身について、楽観的に過ごしてきたようです。今回のピンチもそんなことでクリアできると良いのですが。

不要不急の生活を送っていると、今まで不要なことで走り回っていたと反省し、外に目を向ければ、あの集まり、この会議と本当に必要だったのかとも思えてきます。

今回降ってきたこの時間、日頃さぼりがちな家事を丁寧にしたり、断捨離や、庭の花々の手入れをし、豆の収穫やスイトピーの花を愛でた

り…。加えて、ここぞとばかり読書に取り組んでいます。

その例をご紹介します。

ウイルス関連で言えば、精神科医である帯木蓬生の『白い夏の墓標』はサスペンスの要素もあり、人間の肯定的な描き方に結末は感動です。この作者の『閉鎖病棟』は、昨年映画になり、精神病院内の人間模様を描いています。身近な問題だけに、つらい部分もありましたが、私は本の方が好きです。

そして、同じ作者の『日御子』（ひみこ）の厚い本です。弥生時代の邪馬台国論、九州説と大和説が飛んでしまう位、見てきたようなことを言うその時代考証の正確さ（多分）と丁寧な描写。代々通訳に従事した一族からの視点での物語の展開は、考古ファンの私を惹きこみました。日御子が主人公というより、若い通訳が異国の地を訪問して役割を為す、という面白さでした。作者の小説の幅の広さに脱帽です。

ひとりぼっちで悩まずに……

相談電話 **027-221-0783**

相談受付時間 午前9時～午前0時（年中無休）  
毎月第2・4金曜日は24時間受信

ナビダイヤル

0570-783-556

受付 10:00～22:00  
※有料

フリーダイヤル

（毎月10日）

0120-783-556

（8:00～翌8:00）

また、常日頃考えている「立場でものを考える」の観点で読んだ本があります。私がベビーブーム世代であることから、学生運動をした人たちがどう考えていたか、今どうしているのか。私はノンポリで、女子学生が軍手を洗って干していたりするのを、何か違うのではと思って見ていました。また運動系でしたから、論武装は私にとって難しく、受け入れにくいものでした。

『革命とサブカルチャー』を読み、学生運動が政治や体制に対する疑問から出発しても、若者のエネルギーは違った方向にいったと、むしろ、100%否定するわけではありませんが、立場だけでものを考える危険性も感じています。

現在、精神障害者の家族会という組織にいて、会議等でその立場でものを言うというのは必要であります。しかし、私自身と乖離する点も時々気になり、出来るだけ客観性を持ってものを考えたいと思っています。家族会の活動の3つの柱①癒しあい②学び③運動する、の③の部分が一番難しく感じます。まずは、精神障害者当事者と家族の在り方や考え方、その現状、他の障害者への理解、他県の家族会の活動や、違う立場の専門職、また一般の人たちの意見を聞く機会をもつよう心掛けています。

また、立場上、研修等の場で話したり、困った方の悩み相談に乗る機会もあります。それは、「負とも思えるピンチの体験が、人の役に立つ」という体験になっていることになります。とかく内省的になる一方で、読書や人との出会いに助けられていることに、ふと気付いている私が

います。

もう一つ上野千鶴子氏の社会学者としての視点も、何冊かの本から学びました。氏は同世代で、バリケードの中でおにぎりを握っていたというもおかしく、そして、本の中で私たちの世代の女性の歩みも客観的に辿らせてもらいました。私たち世代の女性は、仕事に就かなくても、社会的に目覚め、いろいろな活動をしていると上野氏は言います。その活動の一つにこの「いのちの電話」もあると思いました。私も約30年前、その創設期の熱い雰囲気垣間見させて頂いたこと、覚えています。

私の周囲でも社会活動の場としてボランティア的な消費者運動、公民館での数々の活動、私も関わった子供向けの文庫活動がありました。

まだ子供たちが小さい頃、樋口恵子氏の講演を聞き「PTAは女性の社会勉強の第一歩」と言われたのを忘れません。「仕事が当然」という今の若い人たちには信じられないかもしれませんが。

こんな人間の歩みもあるのに、ウイルスに負けられないとつぶやいています。

何年か後、あのコロナ騒ぎは大変だったと思いつき起すことになるでしょう。その対処の仕方についても、時間の過ごし方についてもきっと印象に残ると思われれます。ともかく、一刻も早い収束を願って…。

## 群馬いのちの電話における 新型コロナウイルス感染拡大予防に対する対応

4月16日、新型コロナウイルスの感染が急速に拡大していることを受け、全国の都道府県において特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。

群馬いのちの電話でも、相談員の「いのちを守る」を最優先にし、4月15日から当面の間の相談電話の休止、養成講座や継続研修の中止、公開講演会や各種講座の中止・延期を決定しました。今後につきましては、HP等で告知致しますので、ご理解をお願い致します。(2020. 4)

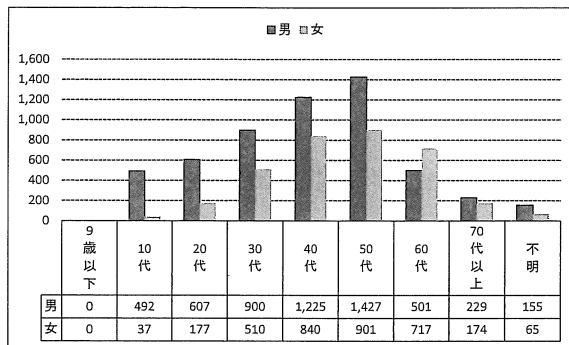
# 電話相談の現状

開局以来総受信件数（1992年10月～2019年12月）	408,336件
2019年受信件数（2019年1月～12月）	17,925件

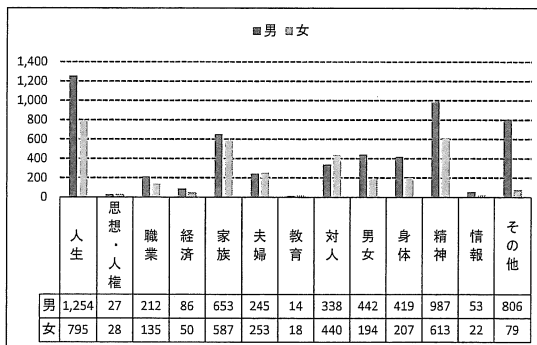
## 2019年10月から2020年3月までの件数と内容

●相談件数…8,957件	内訳 男性：5,536 女性：3,421
●自殺傾向…987件	内訳 男性：620件（11.2%） 女性：367件（10.7%）

●男女別・年代別相談件数



●男女別・内容別受信件数



## イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの登録団体となりました

イオンでは毎月11日にレシートの色が黄色になります。店内に設置された専用の投函BOXの中で応援したいと思う団体のBOXに黄色いレシートを投函すると、その投函されたレシート金額の1%が寄贈されます。

群馬いのちの電話は、イオン高崎店（高崎市棟高町）で実施しています。お買い物の際には「群馬いのちの電話」のボックスへ黄色いレシートを投函ください。レシート1%がイオンから寄付されます。活動に必要な物品の購入に充てたいと考えていますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。